

キャリア教育とは

子どもたちが生きる力を身に付け、社会の変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができる教育「キャリア教育」が今求められています。キャリア教育とは、子どもたちが、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育む教育です。この視点に立って、学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、日々の教育活動を展開することがキャリア教育の実践の姿です。

キャリア教育を通して育てる「基礎的・汎用的能力」とは

人間関係形成・社会形成能力

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分が置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

自己理解・自己管理能力

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

課題対応能力

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

キャリアプランニング能力

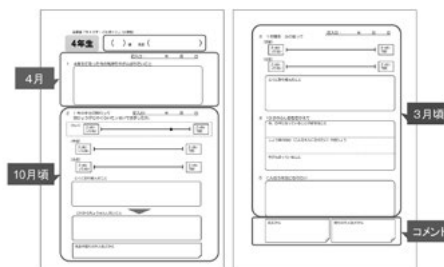
キャリア教育をつなぐキャリアノート、兵庫版「キャリア・パスポート」

キャリアノートとは…

キャリア発達を促す様々な学習経験や活動の記録などを児童生徒自身が書き込むノートです。このノートは、教職員が児童生徒の成長や変化を定性的・定量的に評価し、一人一人の指導・支援に役立てるための重要な資料とすることができます。

兵庫版「キャリア・パスポート」とは…

キャリアノートの内容をもとに、毎学期末に振り返りを行う際に活用するものです。県で統一した様式にすることで、次の学年や校種に引き継ぎやすくしており、分量も各学年1～2ページとしています。



【兵庫版「キャリア・パスポート」】

兵庫版「キャリア・パスポート」を用いて学年間や校種間をつなぐことで、子どもたちや教員にとって次のような良さがあります。

子どもにとって

過去に自分が書いたことを読み返したり、振り返ることで新たな学習活動への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりできます。

教員にとって

兵庫版「キャリア・パスポート」をつなぐことにより、どのような学習過程をたどってきたか、そこでどのように成長してきたかが把握でき、体系的・系統的なキャリア教育につながります。

特別活動を要としたキャリア教育の充実を図る

新学習指導要領では、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ることとされています。

それぞれの教科等では、子どもたちはキャリア発達につながる多くの気づきをしています。また、それらは異なる教科でも関連していることがあります。

特別活動(学級活動)では、キャリアノートや兵庫版「キャリア・パスポート」を活用し、振り返りをしたり新たな目標を立てたりする中で、各教科等での学びをつなげ、意識化させます。

